

## (4) 良質な水産物の供給力の強化

### ア 担い手の育成・確保 農

漁業経営の中軸となる効率的かつ安定的な経営体を育成・確保し、安定的な生産構造の確立をめざします。

漁業の種類に応じた指導と支援により、水産業の将来を担う効率的かつ安定的な漁業経営体を育成します。

漁業就業に関する相談窓口の整備、研修制度、制度資金の活用などにより、漁業経営の将来を担う新規就業者の確保を図ります。

合併や事業統合などの促進により、漁業者の協同組織である水産業協同組合の経営基盤を強化し、健全な発展を図ります。

#### 施策目標

- 17 効率的かつ安定的な経営体の育成・確保 520経営体(479経営体)
- 18 新規漁業就業者の確保 5年間で250人

### イ 漁業生産基盤の整備 農 建

漁業の生産性の向上や漁場環境を改善する漁場整備、漁業の安全性や作業効率の向上、経営構造の改善を図る漁港・漁村の整備を進めます。

安全で効率的な漁業活動が行える漁港や漁村の整備を進め、新鮮で良質な水産物を供給できる体制を確保します。また、漁港施設の計画的な維持管理に取り組み、施設の長寿命化を図ります。

魚礁 や漁場の整備を推進することにより、渥美外海における魚介類の生息の場を確保します。

アサリ等の魚介類の生育の場であるとともに、水質浄化能力を有する干潟・浅場を造成し、水質や底質の環境と漁場生産力の改善を推進します。また、漁港区域内の航路・泊地に堆積した汚泥等を除去し、水域の環境保全を進めます。

赤潮 や貧酸素水塊などを定期的に監視するとともに、漁業者等が行う漁場環境の保全活動を支援し、県民に豊かな海の恵みをもたらす伊勢湾・三河湾の漁場環境を守ります。

#### 施策目標

- 19 漁港の整備・保全 5年間で13か所
- 20 生産性を向上する魚礁の整備 5年間で2か所
- 21 漁場環境を改善し、生産力を高める干潟・浅場の造成、港湾の水質や底質の環境改善を図る覆砂の実施 5年間で50ha



干潟・浅場の造成工事



魚礁に群がる魚

ウ 水産資源の持続可能な利用の推進 農

水産資源の管理・回復を一層推進し、将来にわたる資源の持続的な利用と日本一の食文化の宝庫をめざします。

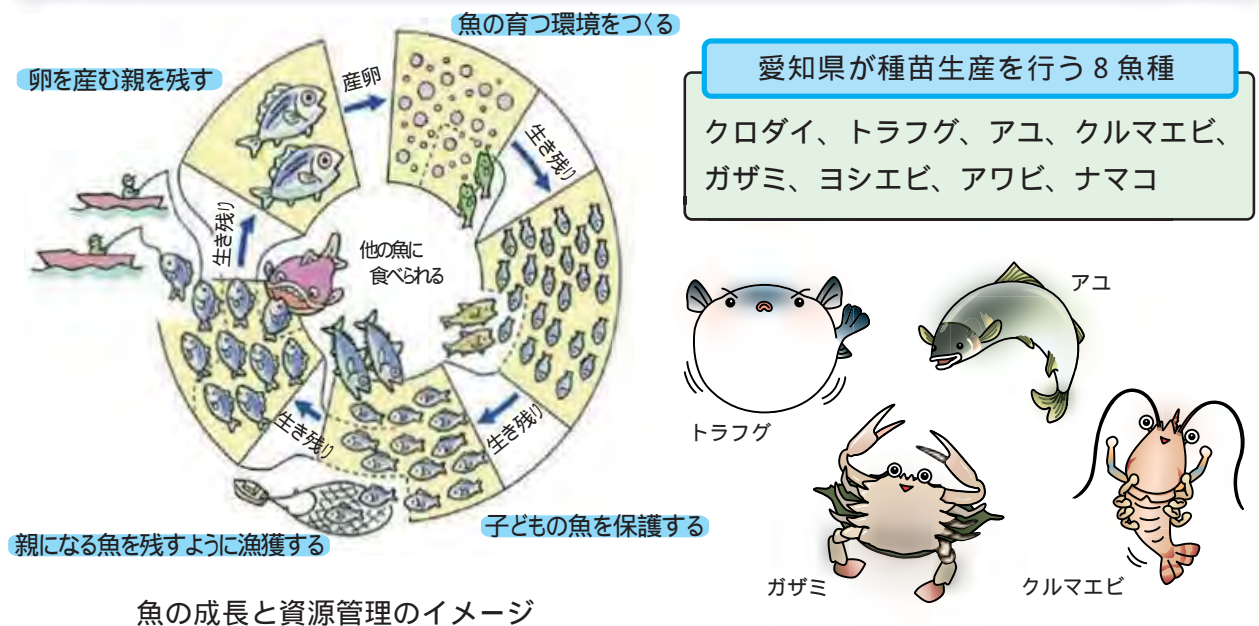
水産資源の保護や漁場の合理的な利用を進め、資源の適切な管理を推進します。

魚類や甲殻類などを育成・放流し、資源の増大を図ります。

産・学・官が連携して漁業と養殖生産に必要な技術の開発と普及を進め、水産資源の持続的な利用を図ります。

施策目標

22 資源管理に取り組む漁業経営体の割合 30% (18%)



## ( 5 ) 食品の安全・安心の確保

### ア 生産・加工・流通段階における取組の推進 農健産

安全・安心な農林水産物の生産・供給を確保するため、生産から加工、流通の各段階における取組を推進します。

生産・出荷組織や法人等の大規模農家を主な対象に、生産工程ごとの管理を適切に行うGAP手法（農業生産工程管理手法）の導入を促進し、農業生産に伴う環境負荷を軽減するとともに、農産物の安全性を確保します。

農薬販売業者や使用者への立入指導等を実施し、農薬の適正使用の啓発を進めます。

畜産農家を対象に、飼養衛生管理基準の遵守の指導や家畜の伝染性疾病の監視を実施し、衛生的な家畜の管理や農場外からの病原体の侵入防止対策を推進することにより、飼養衛生管理の適正化を図ります。

防疫対策マニュアルの整備や防疫演習などを通じて関係者との連携を強化し、口蹄疫（こうていえき）や高病原性鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病の発生に備えた危機管理の徹底を図ります。

農畜産物に関する生産履歴の記帳の徹底やトレーサビリティの導入を支援し、生産段階の情報を消費者に適切に提供できる体制整備を推進します。

貝毒の監視に努め、安全なアサリ等の二枚貝を提供します。

「愛知県HACCP導入施設認定制度」により、食品製造施設等へのHACCPシステムの導入を推進し、加工段階における食の安全性の確保に努めます。

食品関連事業者に対する監視指導や定期的な残留農薬等の検査を実施し、食品関連事業者の法令遵守を徹底します。

「知の拠点」において愛知県が整備・運営する先導的中核施設で実施する重点研究プロジェクトの1つとして、食を脅かす有害化学物質、固形異物、微生物の検出技術の確立に向けた研究開発を、産・学・官の連携により実施します。

食の安全性を高める製造技術を研究し、その研究成果を食品製造業者へ普及するとともに、技術指導を行います。

### 施策目標

- 23 「農産物環境安全推進マニュアル」をはじめとした  
GAP手法導入組織・法人等数 120(93)
- 24 畜産農家（牛・豚・鶏）の飼養衛生管理状況の  
立入検査計画に対する実施率 100%
- 25 愛知県HACCP導入施設認定数 110件(65件)
- 26 食品営業施設に対する監視指導や食品等の安全検査の実施率 100%



バーコードによりトレーサビリティが確保された農産物

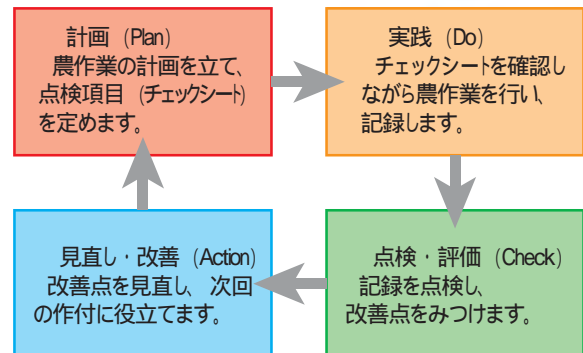


高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫作業

GAP手法（農業生産工程管理手法）とは

GAP（Good Agricultural Practice）とは、農業生産活動を行う上で必要な点検項目について、PDCA サイクル（右図参照）の手法を取り入れて農業生産活動の改善を行うことです。愛知県では、本県の農業をこれからの時代にふさわしい環境と安全に配慮したものとするために GAP 手法の導入を推進しています。

解説



GAP手法におけるPDCAサイクル

HACCP（ハサップ）システムとは

最終製品の抜き取り検査によって安全性を保証しようとするのではなく、製造工程の危害分析（HA）を行い、重要管理点（CCP）を設定し、その工程を連続的に管理することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする衛生管理の手法です。

愛知県では、県内の食品製造業等の施設において HACCP システムを導入し、一定水準以上の衛生管理が認められた施設を「愛知県 HACCP 導入施設」として認定しています。



「愛知県HACCP導入施設」の認定マーク

## イ 消費者への正しい情報の提供 農 県 健

食品に対する消費者の信頼を確保するため、小売店舗等の食品関連事業者を対象とした食品表示の監視・指導を実施します。

電話と電子メールによる食品表示110番を設置するとともに、食品表示ウォッチャーや消費生活モニターと連携した食品表示の監視活動を実施し、適切な食品表示の確保に努めます。

食の安全に関するリスクコミュニケーションを推進し、消費者に対する食の安全に関する知識の普及を図ります。

食品販売店等を巡回してJAS法に基づき適正に表示されているかを調査するとともに、食品表示制度の普及・啓発を図り、事業者による自主的な食品表示の適正化の取組を促進します。

### 施策目標

27 JAS法に基づく表示状況調査の実施 毎年800か所



食品販売店における食品表示調査の実施



法令を守り、適正表示の徹底をお願いします！

愛知県では、

「毎月第1木曜日を食品適正表示の日」

と定め、食品表示の適正化を推進しています。

